

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 御浜町	対談項目1 南海トラフを震源域とする最大クラスの地震・津波を想定した東紀州地域における各市町の被害想定について	<p>県におきましては、「三重県独自の被害想定（各市町単位）」を早急に示していただくよう要望いたします。</p> <p>※被害想定策定において特に望むこと</p> <p>①建物被害や人的被害（負傷者等）の推計数値</p> <p>②町内における河川も含めた浸水域</p> <p>レベル1とレベル2の差は、国民的、県民的、町民的レベルでの認識を共通認識として持つていく必要がある。どれくらいの津波が来るのかは、レベル1とレベル2では相当違うので、知事の方からご指導を強くいただければと感じています。</p>	<p>県では、現在、「100年から150年の周期で発生してきた南海トラフ沿いの大規模地震・津波」を中心とした被害想定調査と、国が発表した千年級、万年級のものに対する被害想定調査の2種類をやらせてもらっています。</p> <p>これらについては、市町のきめ細かな防災対策に役立つよう、詳細なデータを提供したいと考えており、津波浸水図は10mメッシュ、被害数量は、基本的に大字単位で提供したいと考えています。</p> <p>ご要望の建物被害や人的被害の推計値、津波浸水域はもちろんのこと、避難者数や廃棄物の発生量など、今後の対策に必要なデータは、可能な限り推計し、提供します。</p> <p>但し、これら調査の前提となる国からの震源モデルの提示が遅れ、県の作業開始も遅れたことから、データの提供時期は、年度末となる予定です。</p> <p>なお、志原川、市木川、尾呂志川の本流の浸水予測は河川遡上を考慮した情報提供となる見込みですが、支流及びその他の河川については一定の試算を終えてから判断させていただければと思っています。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
2 御浜町	対談項目2 地域自主防災組織の育成・強化にかか る取り組みへの人的支援(専門職等) の継続について	今後も、職員への防災研修や地域自主防災組織の育成・強化の面で、各自主防災組織単位での訓練等に際し、タウンウォッチング等現地指導も含め、ご指導いただきたく引き続きご支援お願いいたします。	市町での取組の支援のため、防災技術指導員5名を配置しているところです。自主防災組織への支援については、紀南地域活性化局と連携し、自主防災組織リーダー研修を管内で開催することとしており、図上訓練や避難所運営ゲームなどを通じてリーダーの育成を行っていきたいと思っています。さらに、今年度はこれまでの取組に加え、御浜町では、阿田和町地区内で「Myまっぷラン」を活用した津波避難計画の策定や避難所単位の避難所運営マニュアルの策定を進めていただくこととなります。引き続き協力して取り組んでいただければと思います

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
3 御浜町	対談項目3 津波シュミレーション(CG映像)の作成について	<p>国が新たに示した「南海トラフを震源とする最大クラス」の地震・津波等を考慮に入れた、当地域(東紀州地域)の「津波シュミレーション映像」をぜひとも作成頂きますよう、強く要望いたします。</p> <p>イメージをどのように持続するかということ言えば、30年間有効に使えるものであります。定期的にそれを見て、それを意識に呼び戻し、大いに役立つ手段だと思います。</p>	<p>津波浸水予測図を被害想定調査をやっていく中で作っていくわけですが、基本的には時系列で、予測図をイメージで示させていただこうかなと思っています。</p> <p>CGは、あまりリアリティがない割には、1箇所500万円ぐらいするので、CGをとというのはやや難しいのかなと思っています。</p> <p>CGは30年間使えるというのは、なるほどと思いつつも、一方で東日本大震災の映像もうまく活用し、さっきの時系列の浸水域シュミレーションも組み合わせながらというのも選択肢として考えながら、危機感を現実的に理解してもらえぬ取組を研究していきたいと思っています。</p>

対談市町名	対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
4 御浜町	対談項目4 防災無線設備の更新等における財政的支援について	<p>現システムは平成8年の導入で老朽化していることから、平成26年度から2カ年計画で「デジタル化」等、設備の更新を図って参りたいと考えております。県の財政面での支援制度の創設をお願いいたします。</p> <p>デジタル機器の機能が急速に進歩していると聞きます。その設備費用も、ずいぶんと値段の差があると言われております。そういう面でも県で研究していただいて、我々に教えていただきたいと思っております。</p>	<p>現在、地域減災力強化推進補助金において、防災行政無線戸別受信機等の整備も対象メニューとなっておりますので、そのご活用もご相談いただければと思っています。</p> <p>また、デジタル方式の防災行政無線を町単独費で整備する場合には、有利な起債として事業費の100%に充当でき、そのうち70%が交付税算入される「緊急防災・減災事業債」を使用することができます。</p> <p>しかしながら、今年度で財源が確保されていませんでしたので、今、三重県を含む9県の知事で南海トラフで提言をしているわけですが、その中でも、この緊急防災・減災事業債の存続か、同等の支援措置、または拡充をして欲しいと強く国に要望しているところです。</p> <p>また、9県知事だけじゃなくて、全国知事会全体でも、緊急防災・減災事業債と同等の支援措置の継続と拡充を申し上げます。全国知事会の方から、市長会や町村会にも連携をお願いして、地方団体全体で国に対して言うていくことが大切かなと思っています。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
5 御浜町	対談項目5 海岸及び河川堤防の強化と津波被害の減災について	1. 海岸浸食が進む七里御浜の無堤防区間の解消について	① 現在整備中の萩内海岸堤防の早期完成と北側(熊野市側)への延長を早期にお願いしたい。	萩内海岸は約2.1kmのうち緊急度の高い約640mの整備を進めてきたところであり、現在約460mの整備が完了しています。残りの約180mについては、平成25年度内に林野庁と「保安林解除」の協議を完了し、工事着手の予定です。北側への延長については、他の事業区間の進捗状況を考慮しながら着手について検討していきます。
6 御浜町	対談項目5 海岸及び河川堤防の強化と津波被害の減災について	1. 海岸浸食が進む七里御浜の無堤防区間の解消について	② 海岸堤防に設置されている樋門を閉鎖したことから、七里御浜海岸から津波発生時の避難路として、下市木浜組地区の梯子階段(3ヶ所)を、避難階段にして頂きたい。	下市木地区海岸の梯子階段3ヶ所については、平成25年度に避難階段として整備の予定です。
7 御浜町	対談項目5 海岸及び河川堤防の強化と津波被害の減災について	2. 町内にある県管理の主要3河川の河口付近の河川堤防の耐震化と嵩上り等について	① 尾呂志川河口付近の背後地(阿田和小学校・紀南高校・クリーンセンター等)を保護するため河川堤防の嵩上げ等対策をお願いしたい。	平成25年3月に、災害復旧工事は完了していますが、今後、出水時の状況を見ながら必要な対策について町と協議してまいります。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
8 御浜町	対談項目5 海岸及び河川堤防 の強化と津波被害 の減災について	2. 町内にある県管 理の主要3河川の 河口付近の河川堤 防の耐震化と嵩上 等について	② 市木川下流左岸堤防水漏れ調査を早急に実施し、対策を講じて頂きたい。	当該箇所については、年度内に補修工法の設計を行い、今後、補修を行う予定です。
9 御浜町	対談項目5 海岸及び河川堤防 の強化と津波被害 の減災について	2. 町内にある県管 理の主要3河川の 河口付近の河川堤 防の耐震化と嵩上 等について	③ 志原川水系河川整備計画の策定を早急にして頂き、樋門の老朽化対策をお願いしたい。	国土交通省との協議を進め、平成25年度末の策定を目指しています。志原川樋門の改良についてもこの中で検討を進めています。

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
10 御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	担い手の確保・育成 に向けた取組	<p>御浜町は、「年中みかんのとれるまち」をキャッチフレーズに、特産品の柑橘を中心として、農業の振興が重要な課題であり続けています。</p> <p>高速道路の南進によって、東紀州における産業振興のあり方についても新しい時代を迎えて、担い手の確保、高品質な果実生産に向けた取組についても、スピード感が求められています。</p> <p>地域の実情に応じた生産振興支援、6次産業化支援、首都圏営業本部等の活動を通じた県産品のより積極的なPR等、ご支援をよろしくお願いします。</p>	<p>平成24年度から県の農業大学校で、農産物のマーケティング戦略における公開講座を開催しています。若者たちが僕らのトマトジュースを販売するという実践例も出てきています。一定程度のまとまった受講者数が見込まれる場合、農業大学校まで来ていただかなくとも御浜町での開講も検討しますので、改良普及センターまでご相談いただければと思います。</p>
11 御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	担い手の確保・育成 に向けた取組		<p>平成24年度から、御浜町、熊野市、紀宝町、JA南紀さんで「三重南紀元気なみかんの里創生プロジェクト協議会」を作っていただいて、就業希望者向けの基盤整備や情報発信に南部地域活性化基金を活用してやっていただきまして、我々も支援させていただいているところです。</p> <p>今年度も移住相談会に御浜町も参加されると聞いていますので、PRしていただければと思います。</p>

対談市町名		対談項目	各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
12	御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	競争力の高い産地づくり	<p>みえの一番星、団地型マルチドリップ栽培技術の導入、実証展示ほ場の設置を支援しています。</p> <p>また、国の交付金を活用して、高品質果実の選別や、腐敗した果実の除去が可能となる選果システムの導入もやらせていただいているところです。</p>
13	御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	県産品のPR	<p>「平成おかげ参りプロジェクト」による百貨店等での三重フェアなどを全国的に開催しますので、販路拡大につながるPRを積極的に進めてまいります。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
14 御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	県産品のPR	<p>セミナーを「三重テラス」で行ったら「三重テラス」認定のセミナーということで、ブランド化していくような認定証をだしていただくとかもあり得るかなと思います。我々も積極的に参加をさせていただきたいと思っております。</p>	<p>9月にオープンする首都圏営業拠点「三重テラス」においては、市町で、市町同士で、市町と一緒に、又は市町と民間が連携して使っていただくことができます。無料でPRできるので、自由な発想をちょうだいできればと思います。例えば、美肌の秘密はミカンからというセミナーを開催することもできます。集客の手伝い、場所の無料提供をさせていただきます。また具体的にご相談させていただければと思います。</p> <p>セミナーそのもののブランド化というのは本当に重要だと思っています。「丸の内朝大学」は1回目より2回目がブランド化されまして、予約スタートして3分でいっぱいになりました。御浜町の場合は、年中みかんがとれるということですから、季節ごとにやってみて、継続してブランド化させるというのも一つのアイデアだと思いますので、年間スケジュールみたいなものに入れていければと思いますので、具体的に相談をさせていただければと思います。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
15 御浜町	対談項目6 柑橘産業の振興について	県産品のPR		<p>東紀州地域振興公社の通信販売事業者等へ商品カタログの掲載を働きかけるやNEXCO中日本のホームページ「オンラインモール」への働きかけなどをさせてもらっており、たくさん使ってもらえればと思っているところです。</p> <p>多くの場面、取組みを組み合わせでシナジーさせていくことで効果を上げていきたいと考えています。</p>
16 御浜町	(当日追加項目)	流木の処分について	<p>七里御浜に打ち寄せられた流木等のゴミがなかなか片付けられず処分に困っており、積み上げて祭りをして燃やすのはいけないのか。費用をあまりかけずに処分したい。例外的に燃やしたときに重大な損害が発生が生じるのか等も考慮のうえ考えてほしい。</p>	<p>海岸で燃やすことはできませんが、要望として聞き置きます。</p>